

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立ハンセン病療養所運営費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和5年度～		担当課室	国立病院課国立ハンセン病療養所管理室		室長：古川浩二	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・厚生労働省設置法(平成11年法律第97号)第16条 ・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)		関係する計画、通知等	・国立ハンセン病療養所における療養体制の充実に関する決議(衆参) 衆議院における決議(平成21年7月9日) 参議院における決議(平成22年5月21日)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第2条第3項に規定する入所者(国立ハンセン病療養所に入所している者に限る。)に対して、良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保を図るため、国立ハンセン病療養所の運営を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	11,607	11,335	11,073	10,764	10,989
		補正予算	▲ 59	▲ 9	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	11,548	11,326	11,073	10,764	10,989
	執行額	11,439	11,186	10,888			
執行率(%)	99.1%	98.8%	98.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第3条に基づき、国立ハンセン病療養所の入所者が地域社会から孤立することなく、安心して豊かな生活を営むための施策であることから、定量的な成果目標は示せない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)第3条に基づき、国立ハンセン病療養所の入所者が地域社会から孤立することなく、安心して豊かな生活を営むための施策であることから、定量的な活動指標は示せない。		活動実績	—	—	—	—
			(当初見込み)	(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	謝金	136	165	医師診療援助に必要な経費の増			
	旅費	17	34	医師確保に必要な経費等の増			
	物件費等	7,242	7,497	医療提供体制の充実に必要な経費の増			
	医療機器整備費	544	544				
	医薬品等購入費	1,710	1,689	入所者数の減に伴う使用数量の減			
	食糧費	770	726	入所者数の減に伴う使用数量の減			
	その他	345	334	入所者数の減に伴う入所者給与金等の減			
計	10,764	10,989					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業の必要性は認められるところであるが、優先順位を付けるなど予算の効率化を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、国立ハンセン病療養所の入所者の良好かつ平穏な療養・生活環境の確保に支障のない範囲にて入所者食糧費等の経費80百万円を削減したが、ハンセン病療養所における深刻な医師不足への対策に必要な経費を増額する。(▲80百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省

10,888百万円



A

国立ハンセン病療養所（13施設）10,833百万円

（内訳）上位10施設

国立療養所菊池恵楓園	1,315百万円
国立療養所多磨全生園	1,242百万円
国立療養所長島愛生園	1,180百万円
国立療養所沖縄愛楽園	1,051百万円
国立療養所邑久光明園	1,013百万円
国立療養所星塚敬愛園	961百万円
国立療養所松丘保養園	795百万円
国立療養所大島青松園	704百万円
国立療養所東北新生園	646百万円

国立ハンセン病療養所の運営費

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

A. 国立療養所菊池恵楓園			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	諸謝金、入所者作業謝金	11			
旅費	研修旅費、委員等旅費、入所者転送等旅費	1			
物件費等	入所者療養諸費	816			
医療機器整備費	医療機器整備費	84			
医薬品等購入費	医薬品等購入費	234			
食糧費	入所者食糧費	134			
その他	入所者給与金	35			
計		1,315	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 国立療養所菊池恵楓園

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アステム株式会社	医薬品購入	84	9	98%
2	九州電力株式会社	電力供給	67	随意契約	—
3	吉村商事株式会社	A重油購入	59	5	96%
4	木村医療器機株式会社	眼科手術用顕微鏡購入	47	4	96%
5	株式会社八尾日進堂	医療用消耗品購入	40	6	99%
6	有限会社吉田商店	入所者食糧品購入	36	3	95%
7	株式会社新生堂	医薬品購入	24	9	98%
8	富田薬品株式会社	医薬品購入	22	9	98%
9	山下医科器械株式会社	上部消化管汎用ビデオスコープ購入	21	4	95%
10	株式会社アトル	医薬品購入	19	9	98%